

■ すい臓ドッグ

検査項目	ベーシックコース	シンプルコース	検査概要・検査の説明など
MRCP検査 (MR胆管膵管撮影)	○	○	<p>MRCPは膵臓・胆道系に特化したMRIの撮影方法です。経口消化管造影剤を使用することで、膵管・胆のう・胆管を見やすくします。膵臓をくまなく観察でき、奇形や膵炎、膵癌も発見できます。</p> <p>(MRCPの膵癌に対する感度は約90%と報告されています)</p>
腹部超音波検査	○	○	<p>超音波検査は偶発症がなく、膵臓の検査では非常に大切な検査となります。他の臓器（肝臓・胆嚢、脾臓、腎臓）も観察いたします。膵臓は非常に奥まったところにあるため、超音波検査で膵臓をくまなく観察することは非常に難しいのが実情です。観察しづらい部分についてはMRCPで補完します。</p>
身長・体重・BMI・ 肥満度・ 体脂肪率	○	○	-
空腹時血糖・ HbA1c	○		-
血液検査 P型アミラーゼ、 リパーゼ、 トリプシン、 エラスターゼ1	○		<p>膵臓に特異性の高い酵素であるP型アミラーゼ、リパーゼ、トリプシン、エラスターゼ1検査を実施します。画像検査と併用して実施することで、より膵臓の状態を把握することができます。</p>
腫瘍マーカー CEA、CA19-9、 SPan-1、 DUPAN-2	○		<p>CEA、CA19-9に加え、他のドッグ内容にはないSPan-1、DUPAN-2の検査を実施します。</p>